

6月定例市議会報告

6月定例市議会が、6月6日から19日まで開かれました。定例市議会には、平成24年度一般会計補正予算などが上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

可決された主な議案

■平成24年度一般会計補正予算 《歳出の主な内容》

【総務費】

夕日ヶ丘地区の定期借地契約の締結に伴い、境港市土地開発公社からの土地購入費3763万円余、子ども手当の財源として前年度に概算払いを受けた国費の精算に伴う返還金226万円などをそれぞれ増額しました。

【民生費】

障がい者への相談支援体制の充実・強化を図るため県西部の市町村が共同して相談支援事業所へ事業を委託するための本市負担額196万円、制度改正に伴う児童手当システム改修費725万円余などをそれぞれ増額しました。

【衛生費】

玉井斎場東側斜面の落石対策として玉井斎場管理組合が実施

する調査設計に対する分担金520万円余を増額しました。

【農林水産業費】

弓浜地域の特産品である白ねぎの安定的な周年出荷を促進する取り組みや担い手農家等が規模拡大のために必要とする農業用機器等の整備に対する助成金2432万円余、沿岸漁業への就業を目指す者に対して、熟練漁業者による研修を実施する漁業協同組合への助成金71万円などをそれぞれ増額しました。

【教育費】

少人数学級の利点を生かし、児童生徒の思考力や判断力などの育成および学習意欲の向上を図るため、授業改革や研修会などを実施するための経費42万円、文化ホールの冷房機器の修繕経費80万円をそれぞれ増額しました。

《歳入の主な内容》

歳出に伴う県支出金を計上するほか、財源として繰越金を増額しました。

以上により、歳入歳出それぞれ8096万円を増額し、予算総額を149億6096万円としました。

■境港市印鑑条例及び境港市手数料条例の一部改正

外国人登録法の廃止および住民基本台帳法の一部改正に伴い、所要の改正を行いました。

■境港市国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険の被保険者となる外国人については、国民健康保険法施行規則に規定されていることから、条例の規定を削りました。

■境港市難病患者等ホームヘルパー派遣手数料の徴収に関する条例の一部改正
平成22年度の税制改正に伴う年少扶養控除等の廃止により、手数料の算出に影響が生じないようにしました。

■中海圏域の定住自立圏の形成に関する協定
「中海市長会」の名称が、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」に変更になったことに伴い、引用しておりました名称を改めるなどの変更をしました。

■鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議
外国人登録法の廃止に伴い、負担算出に用いる人口の定義から外国人登録原票を削除しました。

議員提出議案

■「基地対策予算の増額等を求める意見書」の提出について

■「2013年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める意見書」の提出について

陳情等の審議結果

■採択

◇2013年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める陳情

■趣旨採択

◇年金2・5%削減法案撤回の意見書提出を求める陳情

◇最低賃金の引き上げと安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める意見書採択の陳情

◇水産加工汚水共同処理施設（竹内団地）の設置についての陳情

◇消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情

■不採択

◇陳情書（第8号）

◇陳情書（第9号）

◇緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情

◇陳情書（第14号）

専決処分の承認

■駐車場費特別会計の補正予算

歳出に見合った使用料の確保ができなかったことによる前年度歳入不足に対して、前年度繰上充用金5408万円9千円を新たに計上し、予算総額を1億1075万8千円としました。

■土地区画整理費特別会計の補正予算

歳出に見合った保留地の売却ができなかったことなどによる前年度歳入不足に対して、前年度繰上充用金5億3732万6千円を新たに計上し、予算総額を6億1807万円としました。

■市場事業費特別会計の補正予算

歳出に見合った使用料の確保ができなかったことによる前年度歳入不足に対して、前年度繰上充用金821万5千円を新たに計上し、予算総額を4344万8千円としました。

■境港市条例等の一部改正

市民税については、東日本大震災により居住用の家屋が滅失した敷地を譲渡する場合、所得割の軽減措置期限を4年延長しました。固定資産税については、土地の税額計算における負担調整措置を3年延長しました。

